



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

海外語学研修・交換留学 ガイドブック



福山大学 国際センター

2024年4月改訂

目次

1. 留学スタイル.....	1
(1) 海外語学研修（短期）	
① 夏季英語研修・春季英語研修	
② 夏季中国語・中国文化研修	
③ ベトナム夏季英語研修	
④ 韓国語研修	
(2) 交換留学（中長期）	
(3) 学位取得留学（中長期）	
2. 留学までのステップ.....	2
①計画を立てる・情報収集	
②出願	
③渡航準備	
④海外語学研修・交換留学等の年間スケジュール	
3. 福山大学 海外協定大学一覧.....	3
4. 海外協定大学からの奨学金.....	4
5. 求められる語学力.....	5
6. 海外語学研修体験記.....	6
アメリカでの夏季英語研修.....	6
中国での夏季中国語・中国文化研修 ・ ベトナムでの夏季英語研修.....	7
7. 交換留学体験記.....	8
中国への交換留学①・②.....	8
ブルガリアへの交換留学①・②.....	9
ベトナムへの交換留学.....	10
メキシコへの交換留学.....	11
8. 福山大学海外語学研修・交換留学への参加申込及び今後の流れについて.....	12
海外語学研修 交換留学申込書・奨学金申請書（様式1）.....	13
海外語学研修 交換留学計画書・指導教員の所見（様式2）.....	14
誓約書（様式3）.....	15
海外語学研修・交換留学報告書（様式4）.....	16~17
派遣交換留学生募集要項.....	18~19
9. 福山大学海外危機管理マニュアル（抜粋）.....	20

1. 留学スタイル

(1) 海外語学研修（短期）

① 夏季英語研修・春季英語研修

カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)やカリフォルニア州立大学サンマルコス校(CSUSM)での語学研修に参加できます。両大学周辺は1年を通して温暖で過ごしやすい気候で、週末には、ハリウッド、ディズニーランドなどの観光名所を訪れることができます。また、ホームステイを通じ、現地の生活を肌で感じることができます。

UCR 留学費用 約50万～60万円（過去実績）

奨学金 > 福山大学給付奨学金 5万円（4週間）＊
3.5万円（2週間）＊

> 福山大学貸与奨学金 20万円

★年度末までの返済必須

CSUSM 留学費用 約30万～50万円（過去実績）

奨学金 福山大学給付奨学金 5万円（4週間）＊
3.5万円（3週間）＊

② 夏季中国語・中国文化研修

夏季休暇を利用して中国の対外経済貿易大学または上海師範大学での語学研修に参加できます。世界中から集まる留学生と一緒に勉強するので、たくさんの出会いがあり、勉強意欲も向上します。座学だけでなく、中国文化に触れる機会も沢山用意されていますので、楽しく学ぶことができます。

留学費用 約13万円～17万円（過去実績）

奨学金 > 福山大学給付奨学金 2.5万円＊

> 上海師範大学：中国政府奨学金（授業料約8万円）免除実績有。（学内で公募の上1名選考）

③ ベトナム夏季英語研修

夏季休暇を利用してベトナムの貿易大学での語学研修に参加できます。ベトナム語の習得や、英語でベトナムの文化や経済を学び、現地の企業を訪問します。

留学費用 約25万円

奨学金 福山大学給付奨学金 3.5万円＊

④ 韓国語研修

韓国の釜山外国語大学校での語学研修に参加できます。韓国語や韓国文化などを学ぶことができます。

またその他にも、観光ツアーや韓国料理体験などもあり、楽しく学ぶことができます。

留学費用 約16.5万円（渡航費・食費等含まず）

期間 3週間

(2) 交換留学（中長期）

福山大学を休学せずに、半年間もしくは1年間、交換留学制度実施校に留学するプログラムです。語学のみならず、専門教育も履修するため、高度な語学力が要求されますが、日本では得難い貴重な経験ができるでしょう。取得した単位は、福山大学の単位として認定される制度があるほか、学内外の奨学金も利用できます。

授業料 派遣先大学：免除

福山大学：正規金額の2分の1免除

奨学金 > 福山大学給付奨学金 5万円＊

> 派遣先大学 各種奨学金（次頁）

(3) 学位取得留学（中長期）

福山大学に在籍したまま海外協定大学（上海師範大学、江西師範大学、大連外国語大学）の専門課程（正規生）に編入学し、卒業まで在籍して、学位を取得するプログラムで、福山大学及び中国の大学の両方の学位を取得することができます。入学要件は大学により異なりますが、HSK4級もしくは5級が必須となります。

* 福山大学給付奨学金の受給は、研修・留学修了が必須要件です。

2. 留学までのステップ

① 計画を立てる・情報収集

募集や説明会の開催案内はゼルコバ・学内掲示板等で行うので、各自で確認してください。

- 留学の目的
- 自分の語学力
- 留学先（国・地域・大学）
- 留学スタイル
- 留学期間
- 留学費用（奨学金）

② 出願

- 福山大学が定める提出期限までに必要書類を揃え、学務部国際交流課（1号館2階）に提出してください。
- 必要書類は、留学先大学により異なりますので、国際交流課にお尋ねください。

③ 渡航準備

- パスポートの取得
パスポートは早めに取得しましょう。既に取得している人も、残りの有効期限に注意して渡航先や渡航期間に応じて更新してください。
- 査証（ビザ）の取得
渡航先や渡航期間によって、ビザの要否のほか、必要書類や発行手数料・手続き期間なども異なります。関連機関に問い合わせ、余裕をもって手続きを行ってください。
- 航空券の手配
基本的に各自で手配してください。
- 宿泊先の手配
夏季・春季英語研修ではホームステイをしますが、その他の留学・研修では、留学先大学の学生寮等で生活をするようになります。
- 海外旅行保険への加入
『学研災付帯海外留学保険』には必ず加入してください。その他の海外旅行保険には必要に応じて加入してください。

➤ 危機管理の心構え

海外でのさまざまなリスク（自然災害、病気、テロ、犯罪）を回避するためには、自分の身を自分で守れるようになることが大切です。『福山大学 海外危機管理マニュアル』（巻末）等をよく確認してください。渡航前のオリエンテーションでも適宜説明します。

④ 海外語学研修・交換留学等の年間スケジュール

次の表はおおよその年間スケジュールです。留学先大学により、申し込み締め切り等の変更が生じる可能性もありますので、留学を決めた場合は、早めに学務部国際交流課で確認してください。なお、各学科の海外研修は各学科に尋ねてください。

夏季 語学研修	申込締切：5月～6月頃 出発：8月～9月頃
春季 語学研修	申込締切：12月下旬 出発：2月～3月頃
交換留学	【前期交換留学生（2月～）】 申込締切：9月末 出発：2月 【後期交換留学（10月～）】 申込締切：前年度の3月末 出発：10月 ※出発時期は協定大学により異なる

3. 福山大学 海外協定大学一覧

福山大学ではアメリカ・中国・ブルガリア・ベトナム・インドネシア・メキシコ・ポーランド・バングラデシュ・韓国・タイの計 10 カ国、32 大学と海外学術教育交流協定を締結し、学生の皆さんがグローバルに学べる環境の構築に努めています。現在提供しているプログラムは次のとおりです。留学における単位認定については、『学生便覧』・『教務のてびき』を参照するか、学務部国際交流課にお尋ねください。

国名	大学名	語学 研修	交換 留学	学位取得 留学
アメリカ	カリフォルニア大学リバーサイド校	○		
	カリフォルニア州立大学サンマルコス校	○		
中国	对外経済貿易大学	○	○	
	首都師範大学		○	
	貴州師範大学		○	
	中山大学外国語学院			
	湖南大学		○	
	上海師範大学	○	○	○
	天津科技大学		○	
	四川外語学院成都学院			
	広東技術師範大学		○	
	凱里学院		○	
	延辺大学		○	
	山西師範大学		○	
	江西師範大学		○	○
	河北大学		○	
	西安培華学院			
	大連外国語大学		○	○
河北工業大学		○	○	
ブルガリア	ソフィア大学		○	
	ヴェリコ・タルノヴォ大学		○	
ベトナム	ベトナム国家農業大学			
	ベトナム国家大学ホーチミン市 人文社会科学大学			
	ベトナム貿易大学	○	○	
インドネシア	ウダヤナ大学			
	ジョグジャカルタ国立大学			
メキシコ	モンテレイ大学		○	
ポーランド	ヴィスチュラ大学			
	ニコラウス・コペルニクス大学			

国名	大学名	語学 留学	交換 留学	学位取得 留学
バングラデシュ	ノース・サウス大学		○	
韓国	釜山外国語大学校	○	○	
タイ	プリンスオブソンクラ大学		○	

4. 海外協定大学からの奨学金

福山大学は学生の皆さんの海外留学を奨励することを目的として、福山大学給付奨学金とは別に、海外協定大学からの奨学金も用意されています。留学計画を立てる際の参考にしてください。

交換留学（中長期）

交換留学先	奨学金（過去実績）	人数枠	選考方法
上海師範大学	給付奨学金月額 1200 人民元	1 名	福山大学の選考・推薦に基づき、交換留学先大学が決定
山西師範大学	給付奨学金月額 600 人民元	1 名	
貴州師範大学	寮費免除	1 名	
ソフィア大学	給付奨学金月額 500 レバ	2 名	
ヴェリコ・タルノヴォ大学	給付奨学金月額 110 ユーロ	1 名	

留学先の大学の都合により、奨学金の内容が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 求められる語学力

各協定大学へ交換留学をするうえで、先方大学の教育を受けるのに十分な語学力が求められます。具体的には、CEFRのB1、B2を求める大学が多く、試験としてはTOEFLやIELTSのスコアが必要となります（TOEICは認められない大学もあります）。目標設定を早めに行い、計画的に学修に励んでください！

各試験・検定試験とCEFRとの対象は、下記の表を参照してください。

大学入試英語成績提供システム参加予定の資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（平成30年3月）」より令和元年8月作成

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 英検 CBT：準1級-3級 英検2020 1day S-CBT：準1級-3級 英検2020 2days S-Interview：1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5			
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299) 2630 1級	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599) 2304 準1級 (2304)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2299) 1980 2級 (1980)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42
A2	139 120 (130)	1949 1700 (1949) 1728 準2級 (1728)	959 690 (840)		224 135	415 235	
A1	119 100 (110)	1699 1400 (1699) 1456 3級 (1400)	689 270 (270)				

→は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

- 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。
- ※ 障害等のある受験生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。
- ※ 実用英語技能検定における「英検2020 2days S-Interview」については、合理的配慮が必要な障害等のある受験者のみを対象としている。「英検CBT」については、準1級も参加試験として追加（2019年8月23日）。
- ※ TOEIC® Listening & Reading TestおよびTOEIC® Speaking & Writing Tests（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）は2019年7月2日に参加申込みを取り下げたため、記載していない。

参考として、ETS（Educational Testing Service）より公表されている、TOEIC Tests スコアとCEFRレベルとの比較表を掲載します。

	Score Range	A1	A2	B1	B2	C1	C2
Listening	5-495	60	110	275	400	490	N/A
Reading	5-495	60	115	275	385	455	N/A
Speaking	0-200	50	90	120	160	180	N/A
Writing	0-200	30	70	120	150	180	N/A

https://www.iibc-global.org/toEIC/official_data/toEIC_cefr.html

6. 語学研修体験記

アメリカでの夏季英語研修

経済学部 経済学科

2023年参加（当時3年次）鎌倉 奈々

CSUSM 3週間プログラム参加

☆留学の動機・目標

留学の動機は、以前から海外に興味があり、大学卒業までに一回留学を経験してみたかったため、今回参加してみました。

今回の目標は、友達を5人以上作ること異文化について学ぶことです。

☆授業内容

授業は、Public speaking と Listening と Enrichment の3教科で月曜日・水曜日に Public speaking、火曜日・木曜日に Listening と Enrichment がありました。Public speaking は自己紹介や他己紹介、クラスの子と会話をする時間が多かったです。Listening は音楽を使って単語の違いを学習したり、教材を使って学習したりしました。Enrichment は発音について学習しました。動画を使って発音の練習をしたり、英語の早口言葉をやったり、似た発音を学習しました。

☆ホームステイや寮での生活

ホームステイ先ではご飯は部屋に冷蔵庫があり、朝・昼は冷凍食品を解凍し持っていききました。晩御飯はホストマザーが準備してくれました。ハンバーガーやピザ等のジャンクフード、パスタや煮込みうどん風な麺類、米と魚が出ました。洗濯は週一回でした。基本平日は朝8時過ぎに学校に送ってもらい、16時に迎えに来てもらい家に帰るか、行きたい場所に連れて行ってもらい数時間後に迎えに来てもらい家に帰るかでした。18時頃に晩御飯でした。そのあとは自由時間でした。休日は昼頃から行きたい場

所に連れて行ってくれました。ホストファミリーと一緒に行動したり、場所・時間を待ち合わせして一人で行動したりしました。

☆経費

飛行機代 26万2,900円

プログラム費用 61万8,174円

保険 8,313円、エスタ 3,016円

☆留学中の記憶に残るエピソード

一番印象に残っていることは、教会に行ったことです。日曜日の朝にホストマザーと教会に行きました。外観はただのコンクリートの建物で中に入るとステージがあり大きなスクリーンが2つありました。結婚式場のような教会を創造していたため、ライブハウスのような場所で驚きました。始めると、バンドマンが出てきて演奏をはじめ、スクリーンには歌詞が出てきました。演奏後は牧師が出てきお話を聞き、終了後は無料で食べ物をもらいました。教会に行ったことがなく、想像していた教会とは全く違い楽しかったです。

☆後輩へのメッセージ

お金はそれなりにかかりますが、日本では体験できない体験ができ、様々な人と出会うことができるため、お金を払って行く価値はあると思います。また英語ができなくても楽しく過ごすことはできますが、できた方がより楽しむことができると思います。



中国での夏季中国語・中国文化研修

経済学部 国際経済学科

2019年参加（当時1年次）山田 摩美
上海師範大学 4週間研修参加

☆授業の様子

平日は朝の9時から12時まで、中国語の授業を受けます。この授業は中国語を基礎からしっかり学び、授業はほぼ英語で行われるクラスです。午後は大学に講師の先生に来ていただき、中国文化の授業を受けたり、博物館や古い街並みを実際に目で見て中国文化などを学びました。

☆留学中の成果

この研修を通し中国語を少しずつ理解できるようになりました。また、積極的にコミュニケーションをとることがあまり得意ではありませんでしたが、たくさんの友達ができ、成長できたと思います。

☆後輩へ

参加して絶対に損なことはないので思いっきり楽しんでほしいです。様々なハプニングやしんどいこともあると思いますが、絶対にそれ以上の楽しさがあります！自ら進んで動くことが大切で楽しむコツだと思います。そしてそれが自分の学びに繋がると思うので頑張ってください！



ベトナムでの夏季英語研修

経済学部 国際経済学科

2019年参加（当時1年次）高瀬 遥
ベトナム貿易大学 3週間研修参加

☆授業の様子

① 経済、プレゼンに関する授業6回

毎回違う講師によるベトナム経済の概要・法律や、プレゼンテーションをする上でのポイントについての講義を受けました。英語で講義を受けたので、英語学習へのモチベーションに繋がりました。

② ベトナム語の授業4回

ベトナム語での挨拶や実際のコミュニケーションで使われる言葉を、ゲーム形式で楽しく学びました。留学生一人に現地学生が付き一対一で教わりました。

③ 企業訪問員（3社）

日本でも有名な TOTO など3社の企業を訪問し、製造ラインの見学をしました。

☆留学中の思い出・今後の目標

現地の学生や日本の他大学からの参加者だけでなく、同じグループになったドイツ人学生との交流がとても刺激になりました。また、現地学生の日本語学習への意欲が高く、英語・ベトナム語と日本語を教えあつたことが印象に残っています。

実際に英語で話す中で、自分の英語力や瞬発力の無さを痛感しましたが、どうすれば伝わるかを考え工夫し、最後にはバディの学生とより深い話をする事が出来ました。今後は、英語の知識を基礎から確実にするだけでなく、実際に使うことによって生きた英語力を身につけようと思います。

7. 交換留学体験記

中国への交換留学①

経済学部 国際経済学科

2019 年後期半年間留学（当時 2 年次）

留学先：貴州師範大学

山口 裕貴

☆留学のきっかけ

世界で 2 番目に多くの人に使われている言語である中国語を話せるようになることで、仕事の幅を広げたいと思ったからです。また、将来的にダブルディグリーへの挑戦を考えていたからです。

☆留学の目標達成度・成長した点

貴州省は中国で最も貧しい地域と言われていることもあり、私の出会った日本人はたったの 13 人でした。しかし、発展途上の地域で生活することはとても貴重な体験で、周りに日本人が少なかったことで、中国語が早く上達したなと感じました。

☆後輩へ

貴州への留学は語学力だけでなく、自分の生活を見直すきっかけにもなると思います。また、日本人のいない環境で生活することで、自然と中国語を使うようになるため、中国語の上達が早くなります。中国に留学を考えているのであれば、ぜひ貴州師範大学を視野に入れてみてください。



中国への交換留学②

経済学部 税務会計学科

2019 年前期～ 1 年間留学(当時 4 年次)

留学先：江西師範大学

濱田 侑弥

本学から行くのは私が初めてで、自分の行い次第で今後の関係も決まるかもしれないと少し緊張しながらのスタートでした。

留学前は、HSK（漢語水平考試）4 級を取得していましたが、会話に関しては上手くやっていけるか心配でした。南昌市には日本人が合計で 30 人ほどしかおらず、日本人留学生は私一人でした。1 年限定の留学生のクラスはなく、4 年制の 4 回生の上級クラスに編入という形になりました。授業のレベルも高く最初 1 ヶ月は全く聞き取れず、毎日ホームシックに陥っていました。

そんな中私の 1 番の心の助けになり、中国語の進歩にもつながったことは大学の女子軍楽団への参加でした。私は中学の時から楽器を続けていることもあり、楽団への参加を快く受け入れてくれ、色々とお世話をしてくれました。女子軍楽団ということで、大会などには参加できませんが、練習や合奏には毎回参加し、楽器を教え中国語を教えてもらうといった関係を作ることができました。その甲斐もあり、帰国前には自分でも大きな進歩を実感することができました。成績でいうと前期は 70~90 点台だったのが後期には全教科 90 点以上を取得することができました。



ブルガリアへの交換留学①

人間文化学部 人間文化学科

2018年後期～ 1年間留学

留学先：ソフィア大学

(当時2年次～3年次) 長見 さつ葵

ソフィア大学の教育学部で、異文化教育の授業を受けました。毎授業論文を読み、その論文を踏まえてレポートを書き、レポートを利用しながら他の国から来ている留学生とディスカッションをすることで理解を深めました。日本の教育だけではなく、他国の教育も知り、比較することで自分の視野を広げることができました。また、日常生活では、留学の後半から、ルームメイトが日本人ではなくなり、必然的に毎日英語を話すようになりました。そのことがきっかけで、完璧な英語じゃないと伝わらないという思い込みも薄れ、英語を話すことに対して積極的になれました。



ブルガリアへの交換留学②

経済学部 国際経済学科

2018年後期～ 1年間留学

留学先：ヴェリコ・タルノヴォ大学

(当時2年次～3年次) 盛影 司

ヴェリコ・タルノヴォ大学への交換留学を通じ、語学力が向上し、視野がかなり広がったと思います。今までは語学を活かした仕事につきたいと思っていても自分の語学力に自信がなく、国内就職のみを考えていました。しかし、留学をしたことで前より自信を持つことができ、いつかは海外でバリバリ働けるような人間になれるよう頑張りたいと思います。



大学の本館：語学の授業や入学式・卒業式が行われる



ソフィア大学とヴェリコ・タルノヴォ大学の合同食事会

ベトナムへの交換留学

経済学部 国際経済学科

2018年後期～ 1年間留学

留学先：ベトナム貿易大学

(当時2年次～3年次) 木村 優希

留学のきっかけは、2017年の夏にトップ10プログラムに参加したことです。このプログラムでハノイにある貿易大学へ訪問し、現地学生の生き生きとした姿は、当時の私にとって衝撃的で、新鮮で、とても刺激的でした。こんな学生たちと学校生活を送ってみたい、と思い留学することを決めました。

授業は全て英語で行われ、現地学生と同じ授業を受けました。ほとんどの授業でグループワークがあり、最終的にはそのグループでプレゼンテーションをする、という授業がほとんどでした。

週末はベトナム人の友達と遊びに行ったり、授業の課題をしたり、日本人の食事会に行ったりしていました。ボランティアや旅行に行ったりもしました。

私が一番記憶に残っていることは、現地でインターンシップをしたことです。ベトナムの職場で働くという経験をしたことは私にとって大変貴重でした。

留学の目標である、単位の取得、そして英語力の上達ですが、単位は自分の予想以上に取ることができませんでした。英語は留学前と比べて上達したと感じます。日常会話もある程度理解できるようになりました。

今後の目標は、自分の市場価値を高めるといことです。ベトナムの学生は日本の学生と比べて、キャリアに対する意識が高く、第3言語を学ぶことが当たり前だったり、大学に在学中にもかかわらず、会社で働いていたりする学生が多く、

彼らは非常に優秀だと感じました。

私はこれからそのような人材と勝負していくことを想像すると、自分の未熟さに絶望します。そして危機感を覚えます。しかし社会に必要とされる人材を目指すということではありません。あくまで自分のなりたい人間とは何かが軸にあります。

私はこの留学生活で自分の世界観が変わりました。今まで日本しか知りませんでした。むしろ日本ですらも知りませんでした。人が自分を知るためには、他者をまず知ることだといいますが、それは国も同じだと考えます。ベトナムを知ること、日本という国を知ることができました。今まで自分がどれだけ小さな世界で生きていたかを思い知らされました。

もしベトナムに留学したいと少しでも考えていたり、他の国に留学したい、留学に興味があると考えている学生がいたら、是非行ってほしいと思います。大学生活の4年間のうち1年を海外で過ごすか、日本で過ごすかでは正直これからの人生を大きく大きく左右すると考えます。不安はあるかもしれませんが、それは不要なものです。それすら楽しんでほしいと思います。



メキシコへの交換留学

経済学部 国際経済学科

2019 年後期半年間留学（当時 3 年次）

留学先：モンテレイ大学

三谷 龍哉

私は 2019 年 8 月から約半年間、メキシコのモンテレイ大学に交換留学生として在籍していました。私は入学時から交換留学に興味があり、アメリカ経済と深く関係があり、日本企業の進出も増えているメキシコに交換留学をすることを決めました。

留学の目標は、グループワークやプレゼンテーション、スピーチなどの機会に自分の意見を積極的にアウトプットすることでした。

私は、financial analysis, international negotiation, international business の 3 つの授業を履修しました。

モンテレイ大学の授業は、1 セミスターに 2 回の間中テストと最終のテストがありました。さらに、それ以外にホームワーク、プレゼンテーション、グループワークなどがあり授業も週 5 日あったため、毎日勉強に追われていました。私にとって一番大変だった授業は financial analysis でした。金融について本格的に勉強したことがなかったので、この授業で学ぶことすべてが初耳でした。初回の授業から挫折し、それからこの授業の前日の日曜日と水曜日は徹夜で予習、復習、小テストの勉強をするのが当たり前になっていました。最初の間中テストで 100 点を取ったときはとても達成感がありました。初回の授業で「これは単位落とすわ。。。と思った授業で結果良い成績で単位が取れたのは、我ながらよく頑張ったと思います。

週末は、基本的には課題に追われているか、近くのショッピングモールかパーティーに行くかでした。また、ボーリング場に行ったりアナ雪 2 を見に行ったりもしました。さらに、2 週間に 1 回くらいの頻度で i-link（モンテレイ大学の学生団体）が主催するイベントがあったので、それに参加することもありました。

その他、友達とニューヨークとメキシコシティに旅行をして、行き帰りの乗り換えを利用してロサンゼルスとトロントにも旅行しました。メキシコシティでは初めてのピラミッドを見ました。予想以上に大きくて登るのがとても大変でした。



メキシコへの交換留学を終えて、私はとても満足しています。勉強と遊びのバランスがとれていたと思うし、なにより達成感があります。留学をするというのはとても有意義な大学生活の使い方だと思うし、とてもお勧めです。メキシコへの留学は福山大学の交換留学先の中で大変な留学先の 1 つだと思いますが、それだけ得るものも多いのではないかと私は思います。

8. 福山大学 海外語学研修・交換留学への参加申込及び今後の流れについて

本学の海外語学研修・交換留学に参加するための申込書類は次のとおりです。

- ① 海外語学研修 交換留学申込書・奨学金申請書（様式1）
- ② 海外語学研修 交換留学計画書・指導教員の所見（様式2）
- ③ 誓約書（様式3）

次ページからの様式を用いて、募集要項に記載された期日までに、国際交流課に提出してください。
なお、留学修了後には、「海外語学研修・交換留学報告書（様式4）」を提出してもらいます。

最後に、一般的な今後の流れについて記載しますので、よく確認してください。

【語学研修の場合】

- ① 保証人や担任の先生と相談する
- ② 国際交流課に申込書類を提出する
- ③ 国際センター委員会での書類選考を受ける
(奨学金対象ではないプログラム等の場合は適宜選考が行われる)
- ④ 派遣先大学に申し込む
- ⑤ 各自でパスポートやビザを取得し、クレジットカードまたは銀行振込により研修費用を派遣先大学に支払う（国際交流課がサポート）
- ⑥ 国際センターによる海外危機管理等のオリエンテーションを受ける（開催日は募集要項に記載）
- ⑦ 各自で渡航・留学準備を行い（航空券購入を含む）、留学に参加する（国際交流課がサポート）
- ⑧ 留学修了後、期日までに報告書、成績票及び修了証書を提出し、適宜報告会等に出席する
- ⑨ 単位認定を希望している場合は、学部で審議され認定可否が決まる（各自成績票で確認）

【交換留学の場合】

- ① P18～19の「派遣交換留学生募集要項」を参照の上、保証人や担任の先生と相談する
- ② 国際交流課に申込書類を提出する（教務課で「留学願」の様式を入手し、記入準備を進める）
- ③ 国際センター委員会での書類選考を受ける
- ④ 関係教職員との面接を受ける
- ⑤ 書類選考と面接に合格すれば、福山大学から派遣先大学に申請する
- ⑥ 派遣先大学が留学を認めれば、派遣が確定する
- ⑦ 各自でパスポートやビザを取得する（国際交流課がサポート）
- ⑧ 国際センターによる海外危機管理等のオリエンテーションを受ける（開催日は募集要項に記載）
- ⑨ 各自で渡航・留学準備を行い（航空券購入を含む）、留学に参加する
(派遣先によっては履修や寮などの手続きがある。国際交流課がサポート)
- ⑩ 留学修了後、期日までに報告書、成績表及び修了証書を提出し、適宜報告会等に出席する
- ⑪ 単位認定を希望する場合は、学科教員を通じ学部で手続きをする

以上

海外語学研修 交換留学申込書・奨学金申請書

(様式1)

ふりがな 氏名 ローマ字表記		学生番号		顔写真 4 cm×3 cm
学部・学科 研究科・専攻		学年		
携帯電話番号		帰省先電話番号		
生年月日	年 月 日	身長	cm	性別
現住所	〒			
帰省先住所	〒			
メールアドレス	Office365	Office365 以外		
パスポート番号		語学資格名		
有効期限		取得年月日		
*パスポートや語学資格を取得していない場合、「無し」と記入して下さい				
プログラム名	<input type="checkbox"/> 夏季英語研修 <input type="checkbox"/> 夏季中国語研修 <input type="checkbox"/> 春季英語研修 <input type="checkbox"/> 韓国語学研修 <input type="checkbox"/> 交換留学 <input type="checkbox"/> その他 ()			
留学先大学名 *交換留学の場合は 第2希望まで記入可		留学予定期間		
現在の健康状態	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 海外渡航・留学にあたり、配慮が必要(その場合、下の特筆事項に記入)			
既往症 (持病・アレルギー等)				
現在受給中の 奨学金の有無	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無	過去の本学留学プロ ラムへの参加の有無	<input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無	
海外留学奨学金 *奨学金プログラム対 象外の場合は✓をいれ ないで下さい	<input type="checkbox"/> 福山大学海外留学奨学金対象のプログラムなので、申請します *交換留学の場合は5万円(+本学正規授業料の1/2まで減額(教務課への「留学願」の提出 必須))、語学研修の場合は派遣先大学により異なります(募集要項を参照のこと) <input type="checkbox"/> エラスムス奨学金の対象プログラムなので、そちらに申請予定(福山大学海外留学 奨学金は支給されません)			
単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定申請予定 <input type="checkbox"/> 単位認定科目は既に取得しているため、申請しません			
特筆事項				
同意事項 (同意する場合□に ✓を入れて下さい)	<input type="checkbox"/> 学内選考時に福山大学の学業成績を使用すること <input type="checkbox"/> プログラム参加にあたり、募集要項及び別紙誓約書に記載された事項を順守すること <input type="checkbox"/> 海外語学研修 交換留学報告書を期日までに提出すること			
確認事項 (確認した場合□に ✓を入れて下さい)	<input type="checkbox"/> 保証人と事前に相談し、海外渡航・留学参加・別紙誓約書内容について同意を得ていること <input type="checkbox"/> 留学を希望する大学が求める語学・その他の応募要件を全て満たしていること <input type="checkbox"/> 留学修了後、再び本学に戻り学業を継続する意思があること <input type="checkbox"/> 留学によって卒業計画に問題が生じないことを、指導教員に相談の上、確認していること <input type="checkbox"/> 記入した全ての内容について事実と相違ないこと			

* 語学検定試験のスコアを証明する書類があれば、添付してください。
 * 派遣先大学によっては、別途願書、健康診断書、英文推薦状・成績証明書等が求められる場合があります。
 * 申込書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学研修の運営に利用します。
 また、連絡先等については、卒業後に各種案内・通知・依頼文書等のため必要な範囲内で利用します。

海外語学研修 交換留学計画書・指導教員の所見

(様式2)

所属	(年次)	氏名	
希望 留学先		留学予定	年 月 ~ 年 月
		卒業予定	年 月 (留学する場合)

指導教員 職・自筆署名	
----------------	--

<p>① 志望動機 ② 留学計画 ③ 留学により期待される成果等</p> <p>*交換留学希望者は、①の志望動機を留学先での授業で主に使用される言語で書いてください。</p>	<p>※語学研修などの短期研修の場合は記入不要</p>
<p>指導教員 所見</p>	<p>※語学研修などの短期研修の場合は記入不要</p>

*派遣先大学によっては、別途英文推薦状等が求められる場合があります。

福山大学長様

私は、福山大学主催の留学プログラムに参加するにあたり、以下の事項を遵守することを誓約します。

- (1) 当該プログラムの募集要項やパンフレット等に記載されている条件（キャンセル料等を含む）及び同プログラムの趣旨・内容について理解・同意した上で、参加を申し込みます。申し込み後は、福山大学が正当と認める以外辞退しません。留学に必要な諸手続き（留学先機関に提出する各種書類の作成、必要な場合にはパスポート及び査証の取得、福山大学の所属学部・研究科における手続き、科目登録、留学費用の支払い等）は事前に確認の上、私自身の責任において行います。なお、上記の手続きが整わずプログラムに参加できない場合の申請手数料及び諸キャンセル料は私自身が負担します。
 - (2) 当該プログラムの参加者となった場合に、私自身の責任において当該プログラム期間中の病気や事故、第三者への賠償責任等に備えるため、私自身の費用負担で海外旅行傷害保険に加入（*）します。オンライン留学の場合は、必要な環境整備（PC やタブレット等受信機器や通信環境等）及び諸費用の負担（通信費、研修費）は私自身が行います。
 - (3) 派遣先大学が所在する国（地域）の治安、感染症、災害等の状況によっては、福山大学は学生本人の安全を第一と考え派遣留学の中止・延期または帰国勧告を決定することがあり、それらの事態が生じる可能性があることを理解するとともに、その場合は日本国外務省・在外公館の勧告・命令および福山大学の指示に速やかに応じます。また、留学先大学の方針でプログラムが中止・延期され得ることを了承します。なお、これらの事態により発生するキャンセル料や帰国手配等に係る費用負担について、海外旅行保険で補償できない場合は私または保証人の責任において対応します。
 - (4) 留学中は、福山大学海外危機管理マニュアルを含む福山大学の諸規則並びに派遣先大学の諸規則を遵守し、福山大学生としての自覚を持った責任ある行動を取り、福山大学及び派遣先大学による指示・指導に従います。また、自主的に健康管理や安全確保を行うとともに、在外公館への在留届の提出や外務省たびレジへの登録（*）に加え、福山大学への届出事項等に変更が生じた場合は国際交流課に連絡し、留学先国を離れる際は国際交流課に海外渡航届を提出（*）するなどの必要な手続きを遅滞なく行います。
 - (5) 当該プログラムの実施に先だって行われる説明会に必ず出席し、やむを得ない事情で欠席しなければならない場合は、国際交流課に事前に相談します。当該プログラム修了後には福山大学の報告会に必ず出席するとともに、帰国後 1 か月以内に海外留学報告書を国際交流課に提出します。また、日本学生支援機構等の外部団体から奨学金を受給する場合には、受給者（私）は当該団体に対して、当該プログラムに関する報告を適切に行う義務を負います。そのため、私は福山大学及び当該団体に対して、決められた期限内に必要な報告を適切に行います。
- (*) オンライン留学の場合は、海外旅行傷害保険の加入、在留届・たびレジへの登録、海外渡航届の提出は不要です。

留学プログラム名 _____ (_____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月)

学生自筆署名 _____ 署名日 _____

私は保証人として、当該プログラムの趣旨・内容を理解した上で、上記学生と同プログラムへの参加及び本誓約書の全内容について同意します。上記学生の留学中は保証人として必要な支援等を行うほか、経費その他の債務については私が責任を負います。

保証人自筆署名 _____ 続柄 _____ 署名日 _____

現住所 _____

保証人電話番号 _____ 保証人 E-mail アドレス _____

交換留学及び語学研修に参加する皆さんは、帰国後に海外留学報告書を提出することになっています。つきましては、下記の様式を使用して、帰国後1ヶ月以内に提出してください。福山大学海外留学奨学金の授与に関しても、同報告書を提出することが必須条件です(奨学金の授与の詳細・日程については、帰国後に改めて連絡します)。なお、オンライン留学は奨学金の対象になりません。

※ 提出先：学務部国際交流課 int@fukuyama-u.ac.jp

※ 後輩学生のために、留學生活の様子分かる写真・動画を出来るだけ多くご提供ください。

※ 提出した報告書内容及び写真・動画は、ホームページ・学報・大学要覧などの広報媒体に掲載されることがあります。掲載を希望しない場合は、本様式の欄外にその旨を記載する方法で申し出てください。

※

氏名		留学先大学	
学部・学科		留学の種類	語学・交換・その他()
学生番号		留学期間	年 月 日～ 年 月 日
1. 留学前			
留学の 動機・目標			
2. 留学中			
授業内容			
ホームステイ や寮での生活			

週末の 過ごし方	
経費 (渡航費、 月額生活費、 受給奨学金額、 旅行費等)	
留学中の 記憶に残る エピソード	
3. 留学後	
留学目標の 達成度 どのような点 で成長したと 感じるか	
今後の目標 (短期留学の 場合、中長期 交換留学への 参加希望があ れば記載)	
来年度以降の 参加者への メッセージ	

*文字数に上限はありません。枠をはみ出してしまう場合には、枠を適宜広げてお書き下さい。

*報告書に記載された情報は、海外語学研修・交換留学プログラムの運営、その他、海外留学や語学留学の運営に利用します。

派遣交換留学生募集要項

1. 趣旨：

福山大学と学術教育交流協定を締結している海外の大学へ、1年間または半年間交換留学することができます。派遣先の大学では、外国語で現地の学生とともに各自が選択した専門分野の正規開講科目を受講します。派遣先大学で修得した単位は、各学部等の定めるところにより、福山大学の単位として認定される場合があります。

派遣学生は、福山大学の代表として相手先大学に派遣されますので、成績優秀、人物に秀でていてだけでなく、日本との環境の相違や異文化を正しく理解し、外国での慣れない生活や派遣先大学での厳しい勉学に耐えることが求められます。この事を念頭に置き、担任の先生及び保証人との相談の上、応募して下さい。

2. 派遣期間：1年間もしくは半年間

※派遣開始時期は派遣先大学によって異なる

3. 募集人員：各大学 若干名 ※派遣先大学によって異なる

4. 応募資格：

- (1) 2年次以上の学生（非正規生を除く）で、学業、人物ともに秀でた者。
- (2) 前年度の成績評価係数(GPA)が2.3以上である者。※成績評価係数の計算式は次の通り。（秀・優の単位数×3）+（良の単位数×2）+（可の単位数×1）+（不可の単位数×0）／総登録単位数
- (3) 派遣先大学が受入を許可する者
- (4) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者
- (5) 留学期間終了後福山大学に戻り、学業を継続する者
- (6) 派遣先大学において開講される授業を受けるのに十分な語学力があり、単位取得が見込める者
- (7) 派遣先大学が所在する国への留学に必要な査証を取得できる者
- (8) 本学との誓約事項が遵守できる者（別紙様式3参照）
- (9) 応募する年度に健康診断を受けており、心身ともに健康な者

5. 派遣先大学：中国、ブルガリア、ベトナム、メキシコ、バングラデシュ、韓国、タイの協定大学

※詳しくは「本ガイドブック」をご参照ください。

6. 授業料、奨学金、滞在費、その他経費：

- (1) 留学期間中の本学の授業料は、正規金額の2分の1が免除され、派遣先大学の授業料は協定に基づき免除されます。
- (2) 派遣先大学によっては、奨学金が給付されることや学生寮費が免除されることがあります。※詳しくは「本ガイドブック」をご参照ください。
- (3) 渡航費、滞在費、登録手数料、その他留学に係る生活費等の経費は自己負担となります。
- (4) 交換留学を修了した場合、本学から奨学金50,000円（一時金）を授与します。ただし、（独）日本学生支援機構の海外留学支援制度給付奨学生等の別の奨学金受給者は対象としません。

7. 福山大学への応募期限：【前期交換留学生】9月末日

【後期交換留学生】3月末日

※ただし休業日に当たる場合は、その前営業日が締切となります。

8. 福山大学への応募書類：以下の書類を揃えて国際交流課に提出してください。

- (1) 海外語学研修 交換留学申込書・奨学金申請書（別紙様式1）
- (2) 海外語学研修 交換留学計画書・指導教員の所見（別紙様式2）
- (3) 誓約書（別紙様式3）
- (4) 教員推薦書（厳封）※担任、あるいはあなたをよく知る所属学部・研究科の専任教員に英語で記入してもらうこと。（形式自由、A4）
- (5) 成績票 *ゼルコバから印刷すること。
- (6) 健康診断書 ※本学で健康診断を受診していない場合は、医療機関で各自受診した健康診断書を提出すること。
- (7) 語学能力を証明するもの ※TOEFL、IELTS、英検、HSK等
※選考された場合は派遣先大学への提出書類が別に求められます。国際交流課にお尋ね下さい。

9. 福山大学での選考：

- (1) 派遣学生は、国際センター委員会が選考を行い、同委員会の推薦に基づき学長が派遣学生を決定します。その後、派遣先大学が受入の可否の最終判断を行います。
- (2) 派遣学生は、書類選考および面接などにより選考します。
- (3) 選考では、応募書類の他、留学の動機、コミュニケーション能力、語学力、適応能力などを総合的に評価します。
- (4) 選考にあたっては、なるべく多くの本学学生に留学の機会を与えるため、留学経験の少ない学生を優先します。
- (5) 派遣学生の選考結果は、翌月中に発表します。

10. 在学期間：「福山大学学生の外国留学に関する内規第5条」により、留学期間を在学期間に加えることができます。なお、教務課での留学届の手続き等が必要です。

留学の期間は、これを本学の在学期間に通算する。ただし学則第15条第3項に定める在学期間の「8年まで（薬学部については12年）とあるのは、8年に留学期間を加えた年数まで」と読み代えるものとし、当該留学期間中は、同項ただし書は適用しないものとする。

11. 単位互換：「福山大学学生の外国留学に関する内規第6条」により単位互換を行うことができます。なお、留学後に所属学部等での手続きが必要です。

留学により外国の大学で履修した授業科目について修得した単位は、各学部等の定めるところにより、在学期間を通じて学則第20条により修得した単位数と合わせて60単位を超えない範囲内で、当該学部等において修得したものとみなすことができる。

12. 申込先：学務部国際交流課（1号館2階）

9. 福山大学海外危機管理マニュアル(抜粋)

1. はじめに

このガイドブックは、福山大学の学生が、留学・研修を目的とする海外渡航をする際に、危機管理意識を持って情報収集を行い、できる限り危機に巻き込まれないように注意し、万が一の危機発生時に適切に行動できるように作成しました。日本での常識が海外で通じないこともあります。渡航前に熟読し、常に次のことを心に留め、安全で安心な留学・研修生活を送れるようにしてください。

- 自分の身は自分で守る
- 危険な場所に近づかない
- 単独行動は極力避ける
- 夜間・早朝の外出は避ける
- 万が一の危機発生時には、生命の安全を第一に考える

2. 渡航前準備

(1) 渡航先に関する情報収集

国際情勢・渡航先の安全性など総合的な情報収集・・・外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

国別の医療情勢や医療機関一覧などの情報収集・・・外務省 世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

宗教、慣習、タブー等の情報収集・・・独立行政法人 国際協力機構

<https://www.jica.go.jp/index.html>

感染症、医療情報収集・・・厚生労働省 検疫所 FORTH

<http://www.forth.go.jp/>

渡航先法令等に関わる情報収集

① 査証（ビザ）・パスポートの有効期限

渡航先・目的・期間に応じた査証が必要。査証申請に必要な書類や申請方法は国によってことなるので、渡航先国の大使館のHPを参照に直接問い合わせをする。また、パスポートに一定の残存有効期限がない場合は、入国許可や査証発給がされない場合もある。

② 出入国時の禁制品・通貨持ち込みの制限等・・・通関案内（PDF）

<http://www.customs.go.jp/zeikan/pamphlet/tsukan.pdf>

*福山大学では、外務省海外安全ホームページの「危険情報（治安情勢に関連）」及び「感染症危険情報」に応じて、留学・研修の実施及び継続の是非について判断します。原則として、危険情報並びに感染症危険情報が発出されている場合は留学・研修を中止します。ただし、危険情報レベル1並びに感染症危険情報レベル1あるいは2においては、学生からの申請に基づき、大学が指定した条件をすべて満たした上で、協定大学への渡航を認めることがあります。海外留学を希望する学生は、保証人の了解の上、所属学科・国際交流課にご相談ください。

外務省の危険情報レベル（2024年3月現在） https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html	
レベル1：十分注意してください	その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
レベル2：不要不急の渡航は止めてください	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
レベル3：渡航は止めてください （渡航中止勧告）	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
レベル4：退避してください 渡航は止めてください。（退避勧告）	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

外務省の感染症危険情報レベル（2024年3月現在） https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/kansen_risk.html	
レベル1：十分注意してください	特定の感染症に関し、その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
レベル2：不要不急の渡航は止めてください	特定の感染症に関し、その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
レベル3：渡航は止めてください （渡航中止勧告）	特定の感染症に関し、その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
レベル4：退避してください 渡航は止めてください。（退避勧告）	特定の感染症に関し、その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

（2）健康診断・予防接種等

- 持病がある場合や、服薬している場合は、英文診断書や英文の処方薬説明書を準備する。
- 予防接種については、厚生労働省のHP（<http://www.forth.go.jp/>）を参考に渡航先、渡航時期によって必要があれば接種する。
- 歯を治療中の人は渡航前に治療を済ませておく。（海外における歯科治療は保険が適用されない場合がほとんどで、高額な治療費が発生するため）

(3) 航空券・空港出迎えの手配

- 査証取得後、航空券の手配をする。
- 渡航日は、留学先の履修登録に間に合うようにする。2.3 日前の到着を推奨。(要確認)
- 現地到着の時間は、極力留学先の大学が開いている時間帯にする。(9:00~17:00)
(入寮手続きをスムーズにするため。夜間・早朝の移動は危険。)
- トランジットが必要な場合は余裕のあるフライトを選ぶ。
- 旅行代理店での購入以外に、インターネットでの予約も可能。
- キャンセル料や渡航日変更等の是非を合わせて確認する。
- 渡航日程・フライト便名等確定をしたら、空港出迎えの手配を行う。(国際交流課に相談)

(4) 海外旅行保険の加入

- 学研災付帯海外留学保険に必ず加入する。
- 保険内容をしっかり把握する。特に保険金が支払われないケースを確認する。
- 保険証券は必ず留学先に持っていく。現地で受診する場合、必須。

(5) クレジットカード等の作成

- VISA カード、Master カード各 1 枚あると便利。(JCB カードは海外では使えない場合多い)
- 利用限度額に注意する。(盗難時等の被害を最小限にするため、限度額を高額にしすぎない)
- 現金やクレジットカードは同一個所に保存しない。

(6) その他

- パスポートの盗難、紛失に備え、再発行時に必要な顔写真や戸籍謄本等を持参する。
- 訪問地の在外公館、病院、等の連絡先を確認しておく。
- 緊急連絡先リストの作成(様式 1)と留学中の連携。

3. 海外滞在時の注意点

(1) 在留届・たびレジの登録

- 旅券法第 16 条により、海外での滞在期間が、3 か月を超える場合は、在留届の提出が義務。
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>
- 留学中、留学国を離れ旅行する場合は、その都度、たびレジを登録すること。
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(2) 定期的な状況報告

- 現地到着後、家族、担任、国際交流課へ報告を必ずする。
- 海外滞在中は、少なくとも月に 1 回は家族、担任、国際交流課へ連絡をする。
- 日本学生支援機構の海外留学支援制度の奨学生は、連絡の無い月の振り込みはされない。
- 留学中、留学国を離れ旅行する場合は、事前に訪問地、連絡先及び日程等を国際交流課へ提出する(様式 3)。また、留学国に帰国次第、速やかに国際交流課に帰国の連絡を行う。

(3) 健康管理について

- 安全が確認できない限り、生水・水道水は飲まず、ミネラルウォーターを使う。氷も避ける。
- 原則生ものは食べない。十分に加熱調理したものを食べる。
- カットフルーツも要注意（自分で皮をむいたものを食べるようにする）。
- 日頃から十分な睡眠時間を確保する。
- 感染症に注意する。（情報収集を怠らない。厚生労働省HP：
<https://www.mhlw.go.jp/index.html>）
- 地域によっては、虫を媒体とする感染症もあるので、防虫スプレーを使用する。
- カルチャーショック等のストレスや不安・悩みがある場合、一人で抱え込まない。
（家族、友人、国際交流課、担任等に連絡する。必要があれば、本学カウンセリングを案内）

(4) 交通ルールについて

- 現地の交通ルールを順守する。
- 留学先、旅行先で車は運転しない。
- ぼったくりタクシーもあるので、相場を調べ、乗車する前に運転手に確認する。
- 流しタクシーには乗らず、停留所にとまっているタクシーに乗車するようにする。

(5) 危機意識

- 警戒心を忘れない。外国にいることを常に意識する。
- 時間経過に伴う慣れに注意する。
- 貴重品の管理に気を付ける（パスポートや保険証等はコピーを取って別の場所に保管）。
- 手荷物は肌身離さない（置き引き等に注意）。
- スーツケースは常に施錠する。
- 部屋の施錠を怠らない。
- 緊急時の対応を検討する（緊急連絡先リストの作成、助け合える仲間をつくる）。
- 緊急時に現地語で対応できるようにしておく。
- むやみに他人を信用しない。
- 他人から荷物を預からない。預けない（麻薬取引の可能性あり）。
- 夜間・早朝の外出は控える。日中も人通りの少ない道は避ける。
- 目立つ服装や化粧はしない。高価な物を身に付けない。
- 多額の現金を持ち歩かない。
- 誤解を招く言動は慎む。日本では何ら問題ない行動が海外ではトラブルを招くことがある。
例：写真撮影、動植物や石・砂を持ち帰る、ビルのフロアを自由に行き来する等
- 論文・学習の目的で入手しようとするデータ等が違法でないか十分に注意する。
- 見ず知らずの人に個人情報を開示しない。
- 非常時に備え、非常食・ミネラルウォーターや日用品を常備しておく。

4. 危機発生時の対応

(1) 紛争・デモ・テロ・災害等発生時

- 現場には近づかず、身の安全を確保する。
- 銃声や爆発音を聞いた場合は、身を低くし、付近の遮蔽物に隠れ迅速にその場を離れる。
- 災害の場合は、二次災害の危険性についても頭に入れておく。

(2) 強盗・詐欺にあった場合

- 抵抗せずに要求に応じる。不用意にポケットに手を入れない（武器を取り出す行為とみなされる可能性がある）。
- 警察に被害届を提出する。
- 被害届の受理書（ポリスレポート）をもらう（パスポートの再発行や保険請求時に必要）。
- 加害者が銃・凶器を持っていることを想定し、抵抗せず、身の安全を第一に考える。

(3) 関係各所への連絡

- 別表1を基に関係各所（派遣先大学、福山大学、家族）へ連絡をする。
- 自ら連絡できない場合は、派遣先大学や在外公館等関係者に連絡を依頼する。
- 必要に応じて、在外公館等へ連絡をする。
- 派遣先大学の指示に従う。
- 福山大学の指示に従う。
- 必要に応じ、保険会社、クレジットカード会社、旅行会社等に連絡をする。

(4) 情報収集

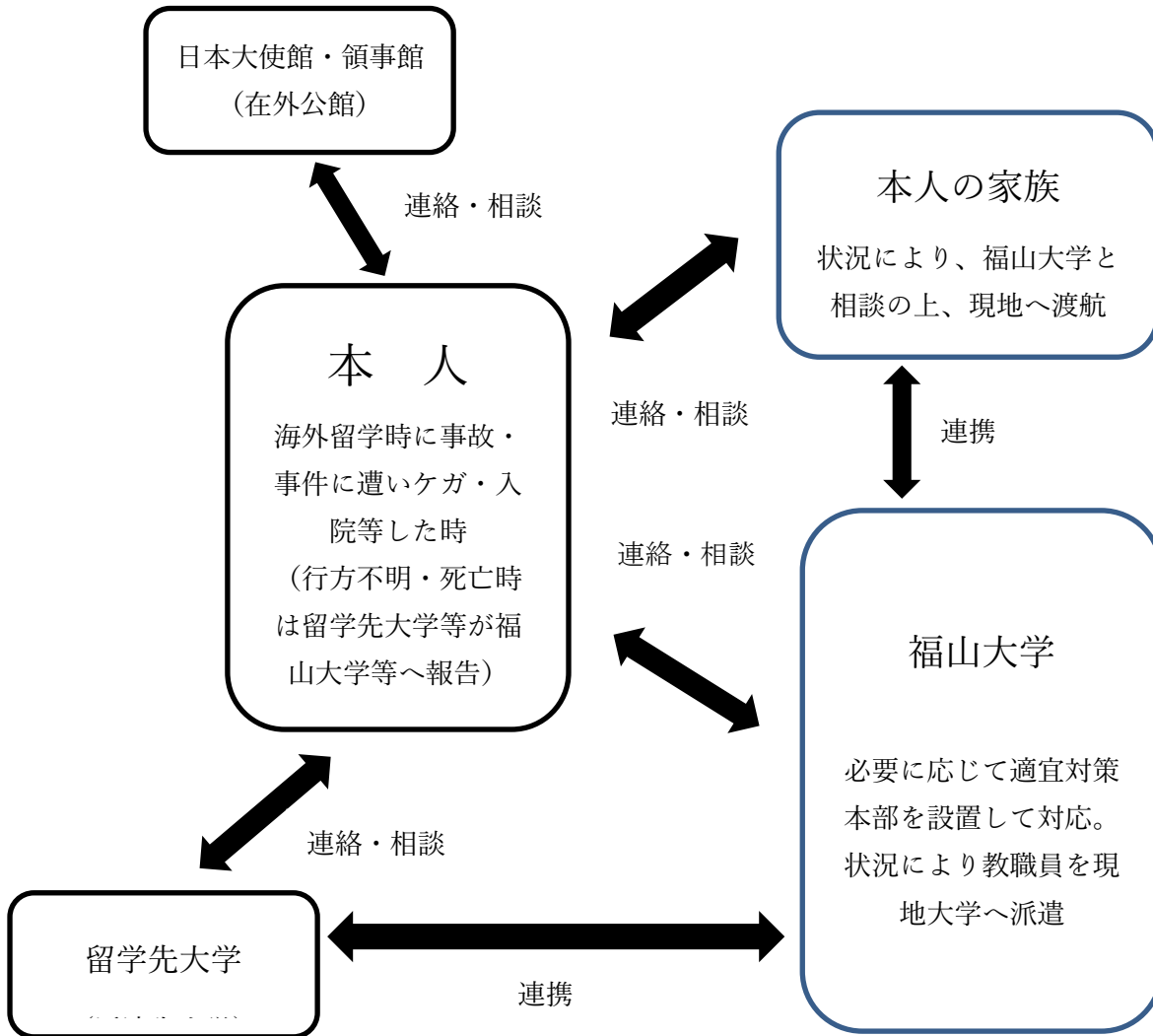
- 在外公館が、必要に応じ、在留届やたびレジ登録者に配信する情報に従って行動する。
- テレビ・ラジオ、インターネット等で正しい情報を入手する。
- NHKの海外放送（テレビ、ラジオ）からも情報の入手可能。
- 最寄りの在外公館で最新情報を入手する。

(5) 現地医療機関での受診・入院について

- 早めに医療機関の所在地を調べておく。都市によっては日本語の通じる医療機関があることもある。
- 医療機関での受診・入院に際しては、保険証が必要となるため、携帯しておく。
- 保険会社へ連絡をする。
- 持病や服薬している場合はその旨伝える。
- 持病の治療は、海外保険が適用されない。全額自己負担となるので、現金、クレジットカードの用意をする。

海外留学時等の危機管理対応体制

「留学・研修先などで事件・事故等が発生した場合の連絡網の体制」(国外連絡網)



海外での留学・研修などに係る危機管理対策

渡航前

- 海外留学・研修等に伴う安全管理に対する心構えと準備。
- 外務省 海外安全HP等で国際情勢・渡航先の安全性についての情報を収集する。
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 厚生労働省検疫所のHP等で渡航先の感染症情報等を確認し、必要な予防接種を受ける。 <http://www.forth.go.jp/>
- 旅行会社や航空会社の危機発生時の補償等を確認する。
- 外務省の渡航登録サービスへ登録する(3ヶ月未満の渡航の場合:たびいづ)。
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>
- 連絡先リストの作成

渡航後

- 外務省の渡航登録サービスへ登録する(3ヵ月以上の渡航の場合:在留届)。 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>
- 在外公館のHP等で定期的に渡航先の危険情報について把握する。
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/>
- 外出時は、緊急連絡先を記したメモを携帯する。
- 大学等への定期連絡。海外旅行報告。トラブル報告。

危機 発生時

- 留学・研修先等の緊急連絡先へ連絡し、その指示に従う。
- 福山大学への連絡、指示に基づき行動する。
- 家族へ連絡する。*自分で連絡できない場合は、留学・研修先や、在外公館の関係者に依頼する。
- 在外公館の連絡・指示に従って行動する。
- 保険会社へ連絡する(状況に応じて旅行会社へも連絡する)。

緊急連絡先リスト

家族①	
家族②	
現地友人①	
現地友人②	
引率教員	
現地大学教職員①	
現地大学教職員②	
ホストファミリー①	
ホストファミリー②	
福山大学（平日8：30～17：00）	+81 - 84 - 936-2111（国際交流課内線：2120,2270）
福山大学（上記時間外、土・日曜、祝日）	+81 - 90-8242 - 3442（福山大学 守衛室）
国際交流課長	
国際センター長	
担任	
保険会社	
旅行会社	
クレジットカード会社	
外務省海外安全相談班	+81 - 3 - 3580 - 3311（内線：2902、2903）

「+」の表示方法：「0」を長押し。（機種によって異なるので、事前に要確認）

留学中・研修中の連絡先（緊急連絡先含む）等について

1. 個人データ *出発前に以下記入の上、国際交流課へ提出をしてください。

名前・学生番号	
電話番号（携帯電話）	
メールアドレス	
生年月日	
血液型	
パスポート番号・有効期限	
VISA 番号・有効期限	
保険証番号	
海外旅行保険等の写し	
既往症歴（アレルギー・精神疾患を含む）	既往症歴 有/無 *有の場合以下も記名 病名： アレルギー 有/無（食品/薬/その他） （具体的に： ） 現在の状況：通院中 / 完治
自宅住所	
自宅電話番号	
自宅メールアドレス（保証人が使用するもの）	

2. 留学先

留学・研修先名	
留学・研修先の住所等	
留学・研修目的	
留学・研修期間	
留学・研修先の担当者氏名	
留学・研修先の担当者電話番号	
留学・研修先の担当者メールアドレス	

3. 保証人（緊急連絡先）

日本国内緊急連絡先① 氏名・連絡先・続柄	
日本国内緊急連絡先② 氏名・連絡先・続柄	

*提出いただいた個人情報は、本学における海外派遣の危機管理業務のみで使用し、その他の目的には利用しません。

海外渡航届

留学・研修中に、滞在国を離れ海外旅行をする場合は、この用紙に記入し、渡航前に国際交流課へメールで送ってください。なお、留学・研修国に帰国したら、その旨を国際交流課へメールしてください。

氏名	
旅行先（国・地域）	
旅行期間	
旅行中連絡先①	
旅行中連絡先②	
滞在先（ホテル名等）	
たびレジ登録日	
その他 （特記事項があれば記入してください）	

相談窓口

福山大学 学務部 国際交流課

所在地：〒729-0292

広島県福山市東村町字三蔵 985 番地の 1

電話：084-936-1672

FAX：084-936-2021

メール：int@fukuyama-u.ac.jp

窓口時間：月～金（祝日は除く）並びに土（授業のある曜日のみ）

8：30 ～ 13：00 14：00 ～ 17：00